

親子心理教育研究所 2025 講座のご案内 2025/01/14

白石京子臨床発達心理士 SV・公認心理師・学校心理士

親子心理教育研究所では、臨床発達心理学・学校心理学について、共に学習研鑽し、共に課題に取り組みます。そして皆さんが成長し、皆さんの抱えている課題解決とそれらを論文等にまとめ、日々の発達特性の方の支援の助けにすることのみならず、発表や講習会を開くことができる人材を育成することを目的（目標）としております。

公認心理師にはなったけど、その専門性を深めるために共に学習しませんか？

2025 年は以下の講座を開講予定です。（2024/12/19 現在）

臨床発達心理学

基礎編 全 12 回 2 月 6 日開講（臨床発達心理士試験を目指す方対象）

中級編 全 12 回 1 月 23 日開講（臨床発達心理士資格者対象）

研究科 全 10 回 3 月 13 日開講（中級編受講者対象）

学校心理士

基礎編 全 10 回 1 月 16 日開講（学校心理士試験を目指す方対象）

※ 2025 年度全体発表会 2025 年 12 月 18 日

一年間の学習の成果を発表していただきます。（先生からのご指名の方）

※ 上記の講座では外部講師による検査のしかた、読み方を学習いたします。

※ 各講座の詳細はそれぞれの案内をご覧ください。

※ 費用 10 回コース 5 万円、12 回コース 6 万円

講座受講希望の方は、別紙の申し込み書類を 2025 年 1 月 10 日までにお申し込みください。締め切り後も随時受付いたしますが、ぜひ初回講座からの参加をお願いします。

講座の進め方

Zoom にて行います。基本はライブにご参加いただきますが、ライブで参加できない場合は、ご都合に合わせてホームページから講義のアーカイブ映像を見ることができます。受講年内は何回でも視聴出来ます。

最初の約 60 分は講義、その後 30 分は事例問題や質疑応答の時間です。

試験を目指している方は特に、単に受け身で聞いているだけでは本当の力はつきません。どんどん発表していきましょう。これは面接や発表練習も兼ねています。Zoom やパワーポイントなどの使いかたも慣れる良い機会です。

皆さんは学びあう仲間です。大いに感じたことを話し合しましょう。ただし批判は避け、その方の良い所を探し合うようにしましょう。

受講の必要機器類

講義は Zoom にて行いますので、Zoom ができるパソコン、タブレットをご準備ください。

スマホでも視聴可能ですが、講義資料などを参照や、まとめを発表していただく機会もありますので、パソコンやタブレットをお勧めします。

また、発表・課題提出等で使用しますのでビジネスソフト(ワープロソフト(ワード等)、発表ソフト(パワーポイント等)もご準備ください。使い慣れたソフトで構いません。

先生からの情報提供や皆さんの情報交換のため、LINE を使用します。

※ ホームページや LINE から得られた情報は、申込時に提出する機密保持誓約書の内容を遵守願います。

お問い合わせ：初めての方 親子心理教育研究所のホームページのお問い合わせフォームから
ホームページ <https://www.pcpelab.com>

現在、過去の受講生の方：白石先生へ直接メールもしくは LINE で。

臨床発達心理学 基礎編 (全12回)

第1木曜日：20時半～22時(原則)

講座概要：臨床発達心理学の理論と支援を学ぶ。目標として資格取得を目指す。

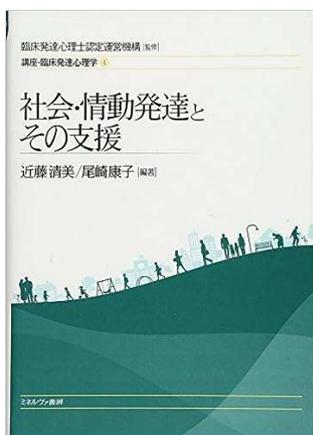
事例を通して発達の観点・時間軸・多要因性を理解する。

過去検査動画4本(新版k式+WISCV)

目標：講座+課題レポート+自己PR面接デモンストレーションを通して学びを深める。

受講費用：5,000 x 12回 = 60,000円

	講義内容	開催日
第1回	臨床発達心理学の基礎と架空事例検討	2月6日
第2回	発達と保育を支える巡回相談1と架空事例検討	3月6日
第3回	認知発達とその支援・架空事例検討	4月3日
第4回	言語発達とその支援・架空事例検討	5月1日
第5回	特別講義 さや可先生(投影法 HTP・バウム等の見方・考え方)	5月15日
第6回	認知発達とその支援・架空事例検討	6月5日
第7回	特別講義 山添先生(WISC-V結果報告書の書き方)	7月17日
第8回	臨床発達心理学の専門性と架空事例検討	8月7日
第9回	子ども理解と支援のための発達アセスメント事例検討	9月4日
第10回	学校現場における支援 臨床発達心理士倫理	10月2日
第11回	ペアレントトレーニング・TEACCH・感覚統合遊び等	11月6日
第12回	臨床発達心理学のまとめ 志望動機等 指導	12月4日



発達段階をふまえた臨床発達心理学 中級編 (全12回)

第4木曜日：20時半～22時(原則)

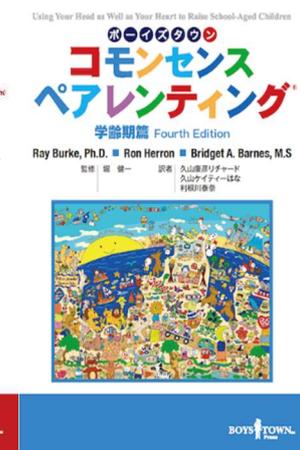
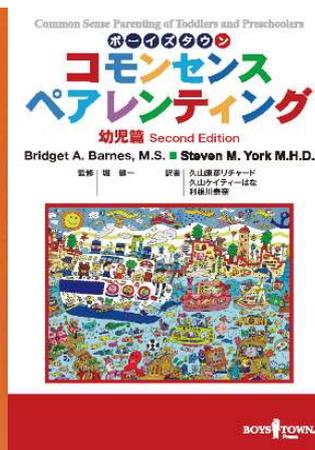
講座概要：心理職として、現代の子どもの置かれている環境や課題、特に児童虐待の課題と支援について掘り下げる。後半は具体的な支援プログラム等について学ぶ。

① 臨床発達心理学の理論と実践をつなげる ② 事例検討し課題発表を行う。

過去検査動画4本(新版k式+WISCV)

受講費用：5,000 x 12回 = 60,000円

	講義内容	開催日
第1回	虐待を受けた子どもの包括的アセスメント	1月23日
第2回	虐待を受けた子どもの臨床的課題	2月27日
第3回	司法・施設でのアセスメント概要と支援	3月27日
第4回	親子関係再構築のためのアセスメントと支援	4月24日
第5回	さやか先生(投影法 HTP・バウム等の見方・考え方)	5月15日
第6回	施設や里親で暮らす子どものアタッチメント・個人発表準備	6月26日
第7回	山添先生((WISC-V 結果報告書の書き方)	7月17日
第8回	ライフストーリーワーク・こどもアドボカシー	7月24日
第9回	マザリーズ理論・ふれあいペアレントプログラム	8月28日
第10回	学齢期コモンセンスペアレンティング・怒りの処方箋	9月25日
第11回	思春期トラウマインフォームドケア・性行動問題支援	10月23日
第12回	生涯発達と親子の発達心理学・個人発表会	11月27日



臨床発達心理学 研究科 全10回

第2木曜日：20時半～22時(原則)

講座概要：心理職としての現場での臨床実務に活かす内容を学ぶ。

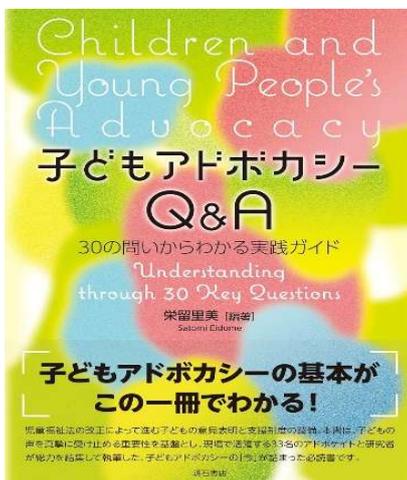
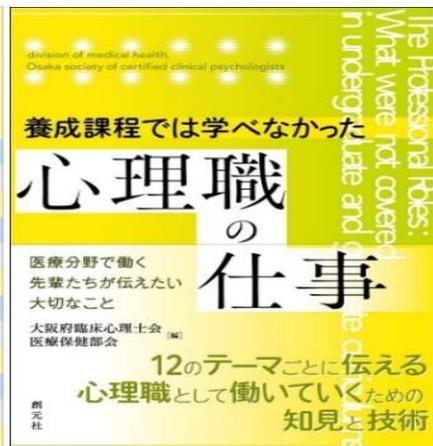
目的：各関連課題に即した理論・臨床事例 目標：社会状況や発達課題に即した支援を考える。

：①各領域の知識取得 ②課題発表 ③学会等の実践研究

過去検査動画4本(新版k式+WISCV)

受講費用：5,000 x 10回 = 500,000円

	講義内容	開催日
第1回	乳幼児期の発達・保育・保健(健診・デジタル育児・保護者支援)	3月13日
第2回	子どもアドボカシーQ&A・子ども六法(子どもの権利擁護等)	4月10日
第3回	ケースで学ぶ司法犯罪心理学(職場パワハラ含む)	5月8日
第4回	さやか先生(投影法 HTP・バウムテスト 方法と解釈)	5月15日
第5回	情緒コントロール・スキル(SEL)を育む支援 個人発表準備	6月12日
第6回	山添先生(WISC- v 結果報告書作成)	7月17日
第7回	心の健康教育・経験とつながる教育心理学・要旨(ネット依存等)	9月11日
第8回	児童虐待・いじめ・不登校対応のための交流分析	10月9日
第9回	体験型ワークで学ぶ教育相談・動機づけ面接	11月13日
第10回	心理職のキャリア形成とメンタルヘルス個人発表会	12月11日



学校心理学 基礎編 (全10回)

第3木曜日：20時半～22時(原則)

講座概要：学校で苦戦している子どもと教師の援助、学校組織を学ぶ。目標として資格取得を目指す。

過去検査動画4本(新版k式+WISCV)

目標：①学校心理学の理解と学びの深化を目指す。②生徒指導・保護者支援について学ぶ。

③特別支援教育の理論と事例を学ぶ。

受講費用：5,000 x 12回 = 600,000円

	講義内容	開催日
第1回	学校心理学と教育援助サービス・新しい生徒指導提要	1月16日
第2回	学校心理学・3段階の援助サービス・チーム援助	2月20日
第3回	生徒指導・コンサルテーション・保護者支援	3月20日
第4回	生徒指導・教育相談・キャリア教育・SEL	4月17日
第5回	さやか先生(投影法 HTP・バウム等見方・考え方)	5月15日
第6回	特別支援教育・インクルーシブ教育とその支援	5月29日
第7回	特別支援教育・特別支援学級と通級と特別支援学校	6月19日
第8回	学校危機対応・自殺予防・いじめ対応とその支援	7月10日
第9回	山添先生((WISC-V結果報告書の書き方)	7月17日
第10回	子どもの権利と子どもアドボカシー・まとめ	7月31日

